

第1章 建築着工統計調査報告（令和6年計分）

建築着工統計調査報告（建築着工統計）は過去12回の試験のうち、全ての回で出題されています。

1 新設住宅着工戸数

令和6年の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で減少となった。

(1) 総戸数（A）

○令和6年の新設住宅着工戸数は79万2,195戸（約79万戸）で、前年比では3.3%減となり、2年連続の減少。

○新設住宅着工床面積は6,087万8千㎡、前年比5.1%減、3年連続の減少。

(2) 利用関係別戸数（A）

持家		21万8,175戸（ <u>約21.8万戸</u> 前年比2.8%減、 <u>3年連続の減少</u> ）
貸家		34万2,092戸（ <u>約34.2万戸</u> 前年比0.5%減、 <u>2年連続の減少</u> ）
分譲住宅	全体	22万5,315戸（ <u>約22.5万戸</u> 前年比8.5%減、 <u>2年連続の減少</u> ）
	マンション	10万2,427戸（ <u>約10.2万戸</u> 前年比5.1%減、 <u>2年連続の減少</u> ）
	一戸建住宅	12万1,197戸（ <u>約12.1万戸</u> 前年比11.7%減、 <u>2年連続の減少</u> ）

(3) 地域別戸数（B）

首都圏	総戸数（前年比2.9%減） 持家（同2.9%減）、貸家（同0.0%増）、 分譲住宅（同6.6%減） うちマンション（同3.3%減）、うち一戸建住宅（同10.2%減）
中部圏	総戸数（前年比1.4%減） 持家（同1.3%減）、貸家（同3.5%減）、 分譲住宅（同1.6%減） うちマンション（同17.6%増）、うち一戸建住宅（同12.8%減）
近畿圏	総戸数（前年比0.5%減） 持家（同0.6%減）、貸家（同4.2%増）、 分譲住宅（同7.0%減） うちマンション（同6.6%減）、うち一戸建住宅（同7.7%減）

その他地域	総戸数（前年比5.7%減） 持家（同3.7%減）、貸家（同2.7%減）、 分譲住宅（同16.0%減） うちマンション（同17.5%減）、うち一戸建住宅（同15.3%減）
-------	---

(4) 建築工法別（C）

- プレハブは、9万3,082戸（約9.3万戸）で3年連続の減少（前年比10.0%減）
- ツーバイフォーは、9万5,102戸（約9.5万戸）で3年ぶりの増加（前年比4.7%増）

2 建築物の着工床面積

(1) 概要（B）

令和6年の民間非居住建築物の着工床面積は、前年と比較すると、事務所は増加したが、店舗、工場及び倉庫が減少したため、全体で減少となった。

(2) 全建築物（C）

- 全建築物の着工床面積は1億276万㎡、前年比7.6%減、3年連続の減少。
- 公共の建築主は469万㎡（前年比1.1%増、2年連続の増加）
- 民間の建築主は9,808万㎡（同8.0%減、3年連続の減少）

(3) 民間建築主（C）

- 居住用は6,299万㎡（前年比6.2%減、3年連続の減少）
- 非居住用は3,509万㎡（同11.1%減、3年連続の減少）

以上、国土交通省「建築着工統計調査報告 令和6年計」（令和7年1月）を加工して作成